

鰻井とみりん

元禄時代（1688～1704）には江戸の町にうなぎ屋があって、ヌルヌルしてつかみにくいウナギを裂いて焼く技術を身に付けて蒲焼を売っていたが、蒲焼は酒の肴として食べられていたので客層が限られていた。そこでうなぎ屋は客層を広げるためにご飯を出すことを始め、さらにご飯と蒲焼を共に一緒に盛り合わせることを思いつき鰻井が誕生した。文化年間（1804～18）のことになる。

すると蒲焼のタレにも変化が生じ、醤油とともに使われていた酒に代えてみりんを使用するようになった。

みりんは女性好みの甘い酒として飲まれていたが、文化年間ころには調味料としてもさかんに使われるようになっていた。

甘口のタレで焼いた蒲焼は鰻井に合う。鰻井人気と共に蒲焼のタレにみりんを使うことは定着していき、幕末近くの江戸の風俗を記録した『守貞謄稿』（嘉永6年・1853）には「江戸はこれ（蒲焼）を焼くに、醤油に味淋酒を和す。京坂は諸白酒を和す」とでている。人情本『春色恋洒染分解（しゅんしよくこのそめわけ）』四編（文久2年・1862）には、遊里での客と遊女のやり取りのなかで、客が遊女に「井飯（どんぶりめし）でも取つて貰（もら）はうか。夫共唯焼（それともただや）いたのにしようか」というと、遊女は「ア、井の方が、お飯へ露が染みてうまいね」と、鰻井を希望する場面が描かれている。遊女がいつているように、鰻井には蒲焼・飯・甘いタレが一体となって作り出す美味さがある。

江戸のみりんに対して、上方では酒が使われてきたが、明治になると変化がみられた。篆刻家・楠瀬日年（くすのせにちねん）[明治21年（1888）生まれ]は、「関西の鰻料理」と題し、「大阪の鰻料理を話すとすれば其頃——日清戦争前後から日露戦争前後……までが最も著しいものをもつて居たかと思う。何故と云うと其後だんだん上方特に大阪には東京風の鰻料理が這入つてきて、真に上方風の味が乏しくなつて来たと思われるからである。例えばタレ一つにしても大阪では味淋は一切使用せず専ら煮酒を割つて居た。だから甘味が乏しくどちらかと云えば辛みが勝つて居た」（『うなぎ』昭和29年）と大阪風の辛口の味が失われつつあるのを惜しんでいる。日露戦争（明治37年～38年・1904～05）後には、関西でも東京風にみりんを使った甘口のタレが使われ出したようだ。



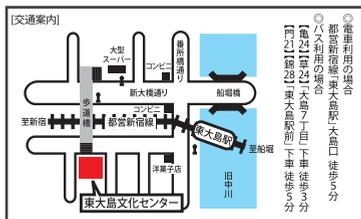
▲ 鰻井の絵。左の井は蓋つきで、右は蓋を取ったところ。『守貞謄稿』

飯野亮一（いのりょういち）

食文化史研究家 服部栄養専門学校理事・講師
東大島文化センター 2019 年前期講座『江戸で花開いた豊かな食文化』講師
著書に『すし 天ぷら 蕎麦 うなぎ』（ちくま学芸文庫）、『居酒屋の誕生』（ちくま学芸文庫）、『卓上日めくりカレンダー 大江戸ごよみ 2019』（監修・共著、筑摩書房）、『江戸庶民の暮らし』（共著、小学館）、『江戸の料理と食生活』（共著、小学館）などがある。

公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
東大島文化センター
TEL. 03-3681-6331
FAX. 03-3636-5825

〒136-0072 江東区大島 8-33-9（地図参照）
休館日：第1・3月曜日、ただし国民の祝日にあたる場合を除く



東大島文化センター ニュース

- index
- 1 聞いて見て知る!リバーツアー／江東囲碁大会
 - 2 東大島文化センター イベントのご案内
 - 3 ぶらり小名木川／第6研修室から奏でる My コンサート
 - 4 コラム 食文化史 「鰻井とみりん」

聞いて見て知る!リバーツアー **11月17日(日)**

ゆったりぐるり 湾岸めぐり

2便は大好評! 夜景が楽しめる 夜間便です。

リバーガイド認定者の解説を受けながら、水の上から水彩都市・江東の魅力を再発見してください。【1便】は、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて建設中の競技会場や関連施設をめぐります。豊洲市場や国の重要文化財に指定されている「明治丸」も見ることができます。【2便】は東京湾からお台場の夜景をお楽しみいただき、日本橋に到着する夜間便です。

- 【1便】 14:20～15:50 集合：豊洲シビックセンター → 解散：高橋乗船場
【2便】 16:10～18:00 集合：高橋乗船場 → 解散：日本橋船着場



▲ 前方、後方のデッキに出ることができます

対象：小学生以上各34名
料金：【1便】1,700円 【2便】2,500円
定員：各34名（定員を超えた場合は抽選）
ガイド：小名木川リバーガイド認定者

募集期間 2019/10/11 (金) 17:00 まで
※詳細はホームページ、カルナビ KOTO9 月号をご覧ください。

江東囲碁大会 審判長 日本棋院棋士九段 加藤充志

白と黒の熱き戦い

団体戦

10/12 (土)

12:30～

個人戦

10/13 (日)

9:30～



団体戦



個人戦

1チーム3名。
勝敗に係わらず3局
対戦できるチーム。

勝敗に係わらず
4局対戦できる方。
・名人クラス（受付終了）
・棋力別クラス・
・シニアクラス
（75歳以上・三段～5級）

今年も「江東囲碁大会」を開催します。個人戦にシニアクラスを設け、各クラスの優勝・2位・3位のチーム・入賞者には賞状および盾を贈呈します。ルール、詳細等につきましてはチラシ、ホームページをご覧ください。

参加者 先着受付中





年忘れお笑いらいぶ

チケット発売
10/10 (木)

12/14(土) 14:00 開演 (13:30 開場)
会場：レクホール

年の瀬に「ワッハッハー!」。大笑いで締めくくりましょう。サイン色紙が当たる、お楽しみ抽選会もあります。

出演 / おぼん・こぼん、エド山口、石黒サンペイ、2代目東京コミックショー、薩長同盟
司会 / 松田洋子

料金：一般 1,800 円
中学生以下 1,000 円
シニア (75 歳以上) 1,600 円
※当日各 200 円増
※全席自由
※4 歳以上入場可



おぼん・こぼん



エド山口

～皆さんで一緒に～ 生伴奏で歌謡曲をうたおう!

11月4日 (月・祝) 14:00 開演 (13:30 開場)
会場：レクホール ※10 歳以上入場可

マイクを持ってひとり歌うのはちょっと...という人でもみんな歌えば
コワくない。じょうず、へたはこの次です。みんな楽しく歌いましょう

伴奏 / たゆたゆ / TaYu's [高橋由香子 (ピアノ)、岡民世 (ベースギター)、神保静恵 (進行)]



料金：全席自由 900 円
ティアラ友の会会員 800 円

第7回 東大島亭

なな子 & あずみ 二人会

11.16土

13:30 開場 14:00 開演

会場 第1和室 ※全席椅子席

料金 一般 1500 円 ティアラ友の会 1300 円



万年橋を想う

小名木川は徳川家康が 1590 年頃江戸に入府し、行徳の塩を確保するため開削された運河です。その後関東からコメ、酒、醤油、干鰯や農産物が船で運ばれてきました。

川の兩岸の開発が進むにつれ橋が作られました。それが万年橋・高橋・新高橋の3橋で隅田川口〔大川口〕には川舟番所〔1661 年中川口に移る〕があり、万年橋は元番所橋といわれていました。架けられた橋は舟の航行を妨げないように、また洪水で流されないように、橋脚を高くしていました。虹型の橋の姿は美しかったことでしょう。万年橋の長さが 2 3 間 幅 2 間、高橋が 18 間と 2 間、新高橋が 16 間と 2 間でした。

万年橋は葛飾北斎の「富嶽三十六景・深川万年橋下」と歌川広重の「名所江戸百景・深川万年橋」で有名です。

2 人の年齢差は 37 歳〔北斎 1760 年～ 1849 年、広重 1797 年～ 1858 年〕、広重は北斎に影響を受け美人画から風景画に変わってきました。富士を描かせたら右に出る人のいない北斎からどんな影響があったのでしょうか。

万年橋からは富士山が良く見えます、北斎は高橋から万年橋とその先にある大川・武家屋敷・富士山と橋下の川舟や釣り人を描き、江戸の日常が感じられます。

広重は万年橋の欄干の隙間から大川・屋敷・富士山を望み、地平線が赤く描かれており夕方の様子が感じられます。手前には手桶のとってにつるされた亀が描かれています。なぜ亀なのか? 当時の風習として放生会〔ほうじょうえ〕があり、8 月 15 日には万物の生命をいつくしみ、殺生を戒め後生の安寧を願うため、生きた生物を自然に返す行事で、古くから八幡宮を中心に行われていました。このために生物の辻売りが「亀は万年」に引っ掛けて亀が売られていたようです。江戸の人々の想いが感じられます。

現在の橋は 1979 年に改修された鉄製の橋です。



広重、名所江戸百景
「深川万年橋」



北斎、富嶽三十六景
「深川万年橋下」

♪ 第6 研修室から奏でる My コンサート ♪
アンサンブル・ノット トリオ・ダンス演奏会

10/6(日) 15:00 開演 (14:30 開場) 第6 研修室
入場無料 (要整理券) 未就学児入場可

オーボエ・クラリネット・ファゴットの 3 リード楽器の三重奏をお送りします!

